

## 令和8年第1回臨時会を開催しました

(令和8年2月10日)

物価高騰対策として行う、デジタルギフト配布事業費や家事用水道基本料金減免事業費などを計上する令和7年度一般会計補正予算（第7回）、令和7年度水道事業会計補正予算（第3回）などを原案どおり可決しました。

## 令和8年第1回定例会を開催しました

(令和8年3月3日から3月24日まで)

令和8年度一般会計予算や土浦市認定こども園条例の一部改正についてなど、土浦市長から提出された議案等の審議を行い、原案どおり可決・同意しました。



新勇会  
田中 義法



郁政会  
海老原 一郎



日本共産党土浦市議団  
古沢 喜幸



政新会  
寺内 充

### 会派代表質問を行いました

今回の代表質問は、第1回定例会となることから行われたもので、市長の施策方針や予算編成方針等について、会派を代表した議員が質問を行いました。



公明党土浦市議団  
吉田 千鶴子



### 目次

- 表紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 令和8年第1回臨時会・令和8年第1回定例会の結果・・・・・・ 2
- 会派代表質問
  - 郁政会・新勇会・公明党土浦市議団・・・・・・・・・・・・ 3
  - 政新会・日本共産党土浦市議団・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 一般質問
  - 福田勝夫・奥谷崇・平岡房子・菅井歩美・・・・・・・・・・ 5
  - 滝田賢治・根本法子・目黒英一・柳澤健二・・・・・・・・・・ 6
  - 竹内裕・篠塚昌毅・平石勝司・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 市内立地企業と議会報告会・意見交換会を開催しました・・・・ 8
- 議会内人事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 令和8年第2回定例会（6月）の日程（予定）・・・・・・・・・・ 8

### <インターネットで市議会の様子を配信しています>

土浦市のホームページから「土浦市議会事務局」→「本会議録画配信」を選択してください。

### <議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

- 土浦市立図書館
- 各中学校区の地区公民館
- 支所・出張所（都和・南・神立・新治・上大津）
- ※最新となる会議録（R8年第1回）は、5月下旬に閲覧が可能となります。



# 令和8年第1回臨時会の結果

## 議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	8.2.10	8.2.10	原案可決
報告第1号	専決処分の承認について (令和7年度土浦市一般会計補正予算(第6回))	8.2.10	8.2.10	承認
報告第2号	専決処分の報告について(和解について)	8.2.10	8.2.10	報告

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第1号	令和7年度土浦市一般会計補正予算(第7回)	8.2.10	8.2.10	原案可決
議案第2号	令和7年度土浦市水道事業会計補正予算(第3回)	8.2.10	8.2.10	原案可決

# 令和8年第1回定例会の結果

## 議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	8.3.3	8.3.3	原案可決
報告第3号	専決処分の報告について(和解について)	8.3.3	8.3.3	報告
報告第4号	専決処分の報告について(和解について)	8.3.3	8.3.3	報告
議案第3号	土浦市行政手続条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第4号	土浦市職員の給与に関する条例等の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第5号	土浦市国民健康保険税条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第6号	土浦市手数料条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第7号	土浦市手数料条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第8号	土浦市コミュニティセンター条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第9号	土浦市立認定こども園条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第10号	土浦市立保育所条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第11号	土浦市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第12号	土浦市子どもランド条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第13号	土浦市放課後児童クラブ条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第14号	土浦市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第15号	土浦市都市公園条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第16号	土浦市都市公園条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第17号	土浦市図書館条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第18号	土浦市立公民館条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第19号	土浦市体育施設の利用に関する条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第20号	土浦市運動広場条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第21号	土浦市立武道館条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第22号	土浦市新治運動公園条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第23号	土浦市新治トレーニングセンター条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第24号	土浦市立土浦市民会館条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第25号	土浦市民ギャラリー条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第26号	土浦市水道事業給水条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第27号	土浦市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第28号	地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	8.3.3	8.3.24	原案可決

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第29号	土浦市債権管理条例の制定について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第30号	土浦市花火のまち推進基金条例の制定について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第31号	土浦市犯罪被害者等支援条例の制定について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第32号	土浦市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第33号	土浦市史編さん審議会条例の制定について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第34号	令和8年度土浦市一般会計予算	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第35号	令和8年度土浦市公共用地先行取得事業特別会計予算	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第36号	令和8年度土浦市駐車場事業特別会計予算	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第37号	令和8年度土浦市国民健康保険特別会計予算	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第38号	令和8年度土浦市後期高齢者医療特別会計予算	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第39号	令和8年度土浦市介護保険特別会計予算	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第40号	令和8年度土浦市水道事業会計予算	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第41号	令和8年度土浦市下水道事業会計予算	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第42号	常磐線荒川沖・土浦間岩柳こ線人道橋架替外1工事の変更協定の締結について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第43号	財産の貸付について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第44号	市道の路線の認定について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第45号	市道の路線の変更について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第46号	債権の放棄について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第47号	公の施設の利用に関する協議について	8.3.3	8.3.24	原案可決
議案第48号	令和7年度土浦市一般会計補正予算(第8回)	8.3.11	8.3.24	原案可決
議案第49号	令和7年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算(第5回)	8.3.11	8.3.24	原案可決
議案第50号	令和7年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第5回)	8.3.11	8.3.24	原案可決
議案第51号	令和7年度土浦市介護保険特別会計補正予算(第4回)	8.3.11	8.3.24	原案可決
議案第52号	令和7年度土浦市水道事業会計補正予算(第4回)	8.3.11	8.3.24	原案可決
議案第53号	土浦市副市長の選任の同意について	8.3.24	8.3.24	原案同意
議案第54号	土浦市教育委員会教育長の任命の同意について	8.3.24	8.3.24	原案同意
議案第55号	土浦市教育委員会委員の任命の同意について	8.3.24	8.3.24	原案同意
議案第56号	土浦市公平委員会委員の選任の同意について	8.3.24	8.3.24	原案同意
	閉会中の事務調査について	8.3.24	8.3.24	原案可決

《欠席議員》3月3日(火)平石 勝司議員 3月24日(火)福田 勝夫議員

## 電子採決の結果

今定例会では、下記の議案について電子採決を行いました。

議案名	議員名	根本法子	目黒英一	平石勝司	吉田千鶴子	福田勝夫	古沢喜幸	柳澤健二	菅井歩美	吉田直起	滝田賢治	田中義法	平岡房子	奥谷崇	矢口勝雄	勝田達也	島岡宏明	今野貴子	下村壽郎	鈴木一彦	小坂博	篠塚昌毅	海老原一郎	寺内充	竹内裕	賛成	反対	採決結果	
議案第13号	土浦市放課後児童クラブ条例の一部改正について	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1	原案可決
議案第18号	土浦市立公民館条例の一部改正について	○	○	○	○	—	棄権	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	0	原案可決
議案第34号	令和8年度土浦市一般会計予算	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1	原案可決
議案第38号	令和8年度土浦市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	1	原案可決

賛成・・・○ 反対・・・× \*議長(勝田達也)は、採決に加わりません。福田勝夫議員は欠席。

## 令和8年第1回定例会休会中の常任委員会審査

- ◇3月11日(水) 予算決算委員会
- ◇3月12日(木) 予算決算委員会
- ◇3月13日(金) 総務市民委員会・予算決算委員会総務市民分科会  
文教厚生委員会・予算決算委員会文教厚生分科会  
産業建設委員会・予算決算委員会産業建設分科会
- ◇3月16日(月) 文教厚生委員会
- ◇3月19日(木) 産業建設委員会・予算決算委員会

●土浦市公平委員会委員  
吉田 薫氏  
土浦市公平委員会委員の選任の同意について原案同意しました。

●土浦市教育委員  
福島 幸子氏  
土浦市教育委員会委員の選任の同意について原案同意しました。

●土浦市教育長  
奥谷 克二氏  
土浦市教育委員会教育長の選任の同意について原案同意しました。

●土浦市副市長  
渡辺 善弘氏  
土浦市副市長の選任の同意について原案同意しました。

# 会派代表質問

## 郁政会

海老原 一郎



動画は



こちらから

議会だよりでは紙面の都合上、一部の要旨を掲載しております。

### 令和8年度市政運営方針と予算案について【市長】

#### ①市政運営の基本姿勢について

「選ばれるまち土浦」の実現に向けた中長期的な都市戦略についてお示しく下さい。

子供たちへの投資こそがまちの未来をつくるという確信があり、公立保育所を維持しながら英語教室等の特色ある保育を行うなど、次世代を担う子供たちへの投資を進めていきます。また、悲願であるつくばエクスプレスの土浦延伸が実現すれば、選ばれるまちとして本市にとって大きな飛躍の機会となることから、機運醸成を図りながら延伸を見据えて、中長期的な視点によるまちづくりを進めていきます。さらに、雇用の創出と税収の確保に直結する企業誘致と産業用地の創出を加速させるとともに、地域資源を生かした観光、農業の振興を図り、地域経済を底上げし、若者が本市に移住・定住できる環境を整えてまいります。

#### ②令和8年度予算編成と財政運営について

①過去最大規模となった主な増額要因は

一般会計においては、歳出面における昨今の急激な経済情勢の変化に伴う人件費や社会保障費、物件費の増加に加え、清掃センター設備の改修や上津地区統合小学校の整備といった投資的経費の増加などの複数の要因により、過去最大の予算規模となっております。

#### ③つくばエクスプレス土浦延伸について

①実現に向けたロードマップと市の主体的な役割について

今回の交通政策審議会での答申において事業が位置付けられることが当面の大きな目標となります。そのためには、

沿線開発に関する分析等を進め、茨城県の事業計画策定へ協力していくとともに、市民や事業者の皆様と一体となつて地元自治体として実現に向けた大きなうねりをつくり出していくことが市の主体的な役割であると考えております。

#### ④重点施策の子育て・教育環境の充実に

①学校体育館空調整備の全体計画と整備完了時期

土浦小、東小、土浦第二小、神立小、都和南小、戸小の6校については現在設計中で、工事発注に向けた準備を進めています。また、同じく設計中の

下高津小と上高津小まで含めると、令和9年度末までに小学校計8校への設置完了を予定しています。その他の小

中学校、義務教育学校は多くが建築から40年を超え、長寿命化改良工事の時期と重なることから、空調や建物断熱化を含めた一体的な工事計画により、

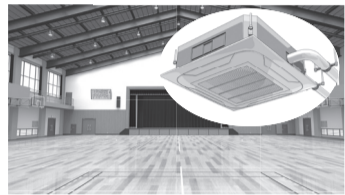
全体の工事費用や体育館閉鎖時期の圧縮を図っていきます。しかし、限られた予算や工事請負者の受注体制を踏まえ、年間2校前後の整備が現実的であると

考えており、全ての学校への設置完了は令和15年度を見込んでいます。なお、令和9年度末までに整備予定の

8つの小学校の工事状況を精査し、改善の余地がある場合には柔軟に計画を見直すこととし、

児童生徒の安心・安全及び災害対策のより一層の強化を図るべく、可能な限り前倒しでの

事業完了に努めてまいります。



## 新勇会

田中 義法



動画は



こちらから

### ①学校施設整備について【市長】

①エアコン設置計画について

①市立学校体育館及びその他施設の体育館の設置計画についてお伺いします。

学校体育館への空調設備の設置事業は、小学校8校を先行してスタートしました。また、学校以外の体育館への設置計画については、既に空調設備が設置されている水郷体育館を除き、廃校となった4つの小学校と新治トレーニン

グセンターの5施設が対象となります。これらの施設は生涯スポーツの普及・振興の推進を目的に市民に開放しており、設置の計画は現在のところありませんが、廃校の4施設は避難所となっているため、災害応援協定によりスポーツ

センター等の対応を受けられる体制を整えております。

### ②災害時の避難場所になる学校への非常用電源の設置についてお伺いします。

災害時、学校を含めて地域が一定期間停電に見舞われるケースがありますが、そのような場合でも適切な避難所運営が求められます。そのため、現状、各

学校の防災倉庫にポータブルタイプの非常用発電機を備え、避難者の一時滞在に必要な最低限の電源設備としての利用を想定しています。また、空調設備には停電時に発電するタイプもありますが、工事費や維持管理費、設置ス

ペース等について比較検討を行った上で、より良い設備を選択してまいります。

②防犯対策について【市長】

①防犯カメラの設置状況等についてお伺いします。

土浦警察署と連携を図り、プライバシー保護や防犯対策上の観点から、不特定多数の集まる常磐線の3駅周辺や繁華街の出入り口、犯罪発生時の追跡調査に有効な主要交差点などに計59基を設



## 公明党 土浦市議団

吉田 千鶴子



動画は



こちらから

### ①市政方針と主な施策について【市長】

①土浦市の将来に向けてどのようなまちづくりを目指しておられるのかお伺いいたします。

市長就任以来、第9次総合計画に掲げる本市の将来像、「夢のある、元気のある土浦」の実現のために、「子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり」、「未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり」、「暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり」、「安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり」の四つの分野を中心に取り組んでまいりました。今後も、これらの取組を優先的、重点的に進めるとともに、時代に応じた様々な施策を的確かつ迅速に実施し、県内の中心都市としてあり続けることを目指してまいります。

### ②人口減少及び移住・定住について伺う。

①本市の持つ魅力をどの分野で磨き上げ、どのような戦略で移住・定住を加速させるのか伺う。そして「選ばれるまち土浦」を実現するための市長の見解を伺う。

新年度は保育所等紙おむつサブスクリプション事業といった新たな子育て支援策の導入や学校施設の空調設備導入の推進などにより、子育て・教育環境の底上げを図ります。また、中古住宅を取得し転入する方へのリフォーム費助成といった新規事業などにより、移住・定住を促進します。さらに、インターチェンジ周辺地区の土地利用促進による企業誘致やスマートインターチェンジの整備などにより、将来の持続的な成長を牽引する産業拠点を形成するとともに、働く場所としての価値を磨き上げてまいります。

### ③TX土浦延伸の将来の展望について伺う。

①令和8年度の県予算が示されています

茨城県は次回開催の国の交通政策審議会を見据えて、事業計画素案を精査するための調査や分析を来年度に実施する予定です。一方、地元の機運醸成や沿線開発が本市の主な役割となります。特に交通政策審議会での答申に向けては、茨城県で行っている事業費や採算性の調査分析はもとより、機運が盛り上がっているかどうかも大切なポイントとなることから、近隣自治体との連携を深め、地域全体での機運醸成を図ってまいります。

### ④「未来を創る宝を育む、子育て環境の充実」について

①市立学校における屋内運動場への空調設備工事の計画スケジュール、財源を含め伺う。

設置費用については、進行中の設計段階において精査を進めていますが、これまでの実例を踏まえると、1校当たりおおむね5000万円から7000万円程度となり、昨今の物価上昇を踏まえると、それ以上となることが見込まれます。また、財源については、国の交付金2分の1、地方債2分の1を予定しており、地方交付税措置まで含めると、本市の負担は4分の1となります。また、国の補助単価が実勢単価に比べ低いため、実際の負担額はこれを上回る可能性があるものと認識しております。



# 政新会

寺内 充



動画は



こちらから

## 令和8年度の予算案について 【市長】

①中心市街地まちなか再生事業について  
令和6年度を初年度とする第三期中心市街地活性化基本計画の中で、都市機能が集積した土浦駅周辺と歴史的まちなかが維持されている亀城公園周辺地区の中間に位置する中央一丁目地区において、暮らしやすい集約型都市構造への転換を図るため、商業施設等の民間活力の導入とともに、子育て支援施設や交流拠点施設等の導入を進めることを位置付けております。この新たな交流拠点の形成によって、これまでの取組により、駅前を中心に増加した人の流れを周辺にも広げていきたいと考えています。本事業の取組については、昨年度、民間事業者へのヒアリングを行いながら、官民連携の事業手法や導入施設の検討を進め、基本計画を策定しました。導入を想定している施設については、屋内遊戯施設などの子育て支援施設、若者を含む幅広い年代の方が趣味、文化活動、スポーツなどに利用できる公共施設のほか、物販や飲食店などの商業施設としており、商業施設についてはスーパーマーケットも導入機能として検討しています。これら施設の整備、運営を行うことで、地域住民の暮らしの利便性を高め、さらには公共機能、商業機能との相乗効果により、多くの方にご利用いただけることを目指します。また、ご指摘いただいている、開発による自動車交通量の増加に適した道路が必要であるという考えは、本市としても同様に捉えています。道路整備については、中心市街地活性化基本計画において、幹線道路の整備をはじめとした安全で快適な歩行空間の創出や施設整備を進めることで、駅周辺からまちなかへと回遊性の向上を図っていることから、多額の整備費が必要となる中心市街地まちなか再生事業の事業化のタイミングを

逃すことなく、国・県から重点的な支援をいただけるよう働きかけを行っていきたく考えています。今後も本事業をはじめとした各種活性化施策の取組を実施し、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進することによって、本市全体の発展につなげてまいります。



# 日本共産党 土浦市議団

古沢 喜幸



動画は



こちらから

## つくばエクスプレスの土浦への 延伸について 【市長】

①国立社会保障人口問題研究所が示す2045年、19年後の茨城県の人口が現在より約20%減の224万人である。つくば市も8%減であり、TXの黒字運行は難しいのではないかと。現在、茨城県により公表されている事業計画は、昨年2月に発表された素案が最新のものとなっており、その中で土浦延伸単独で整備する場合と東京延伸と一体整備する場合、それぞれで採算性について調査を行っています。応用都市経済モデルという方法を用いた分析によると、土浦延伸単独で整備する場合は43年、東京延伸と一体整備する場合は27年で累積損失が解消する予測となっています。この算出に当たっては、将来人口予測も踏まえてシミュレーションを行っており、人口減少が進んでいる状況においても黒字での運行が可能な試算となっています。

## 2 スマートシティについて 【市長】

### ①スマートシティに関連して、これまでに支出された総額を問う。

(仮称)土浦スマートインターチェンジについては、令和2年度から設置に向けた検討を開始し、当初より関係機関からの助言をいただきながら、国の相談会への参加、国土交通大臣への要望活動を行ってきました。その後、予算設計、地質調査と事業を進め、令和5年には国としてスマートインターチェンジの必要性が確認されたことにより、準備段階調査箇所が採択された後、令和6年度に新規事業化されました。令和2年度から、これまでにスマートインターチェンジの整備に要した費用の総額は、令和7年度予算において、現在実施している測量業務及び詳細設計を含め、約1億9000万円となっております。

## ②費用負担の割合を含めて、つくば市との協議はどこまで進んでいるか。

用地取得時の地権者との交渉や一部事業費の負担、道路の管理など、引き続きつくば市とはともに事業を進めていく必要があることから、事業の円滑な実施を図ることを目的とした基本協定を昨年12月に締結しました。基本協定において、費用負担については協議により決定することから、道路線形が確定し、事業費が算出される段階に至ったところで、具体的な費用負担について協議を進めていきたいと考えております。

## ③人口増に向けて 【市長】

### ①社会増の流れをより戦略的に、力強いものへと加速の具体的な方策を問う。

全国的に人口減少が進む中、本市における社会増という明るい兆しを確かなものとするためには、本市の持つ魅力を磨き上げることで移住・定住を図り、選ばれるまち土浦を実現することが必要であると考えています。そのため、新年度は子育て・教育環境の充実、住み続けたい住環境の整備、企業誘致と産業振興の施策を力強く進めてまいります。



### その他の質問

- つちまるバス
- 霞ヶ浦総合公園

## 本会議と委員会

市議会では、本会議と委員会が役割を分担し、市政に関する意思決定を行っています。それぞれの特徴と違いを紹介します。

### 本会議

本会議は、議員全員が集まって市の重要な意思決定を行う場です。会派代表質問や一般質問により、市政の方向性が質されるほか、議案の採決が行われます。

### 委員会

委員会は、本会議から付託され、各議案を専門的・詳細に審査する場です。本会議より小人数の議員で構成され、分野ごとに分かれ、担当する議案について、質疑や検討を重ねます。

## 議会史

# 『土浦市議会五十年のあゆみ』の有償頒布

土浦市議会では「土浦市議会五十年のあゆみ」を有償で頒布しています。

これは市制施行50周年の後、土浦市議会として初めて刊行した議会史で、市制施行から50年間にわたる市議会の活動記録が詳細にまとめられております。

国内外の出来事なども年代ごとに掲載されており、当時の時代背景を回想するにも最適な1冊かと思えます。

なお、頒布冊数に限りがあり、先着希望者のみとなりますが、頒布価格と申込方法は、次のとおりです。

### 頒布価格

1セット 3000円

(発刊当時定価1万6500円)

### 申込方法

購入ご希望の方は

左記までご連絡ください。

### 連絡先

土浦市議会事務局

☎029(826)1111

内線2277



# 一般質問



福田 勝夫  
【一括質問一括答弁】

## Q1 上大津公民館の増築及び長寿命化改修工事について

(1)今後の活動拠点の利便性を考え、駐車場の対策をどう考えているか。  
(2)既存建造物及び増設される建築物について、地震対策をしっかりと設計することが必要だと考えるがいかがか。

(1)敷地内に身障者スペースや屋根付きの車寄せを整備するなど、誰もが利用しやすい駐車場となるよう、現在設計を進めています。施設の複合化に伴い、利用者の増加が見込まれ、建物増築により一部の駐車スペースが縮小することから、機能維持に留意しながら、施設の規模に応じた駐車スペースの確保に努めてまいります。  
(2)上大津公民館は、昭和53年に建築された鉄筋コンクリート造り2階建ての建築物で、平成24年度に実施した耐震診断では耐震性能を有していることが確認されています。また、構造躯体については、現在進めている基本設計において、劣化状況調査を実施し、コンクリートは高い強度を維持しているとの判定を受けていることから、大規模な補強は不要であると考えています。このほか、既存の建物に増築する場合、建物の形状や構造が異なることで地震の際にそれぞれの揺れ方に差が生

紙面の都合上、一部の要旨を掲載しております。

動画は  
  
こちらから

## Q2 神立駅東口開発について

(1)区画整理事業の構想はあるのか、それに伴う道路整備計画はあるのか伺いたい。

## A2 都市政策部長

(1)神立東一丁目地区については、まちづくりの方向性を検討し、地区の将来像を住宅、商業、サービス施設などが調和したゆとりあるまちとするとともに、その実現を目指すため、神立駅東口と田村沖宿線延伸道路を結ぶ道路整備、地区計画の段階的な導入などを進めていくこととしました。なお、道路建設については、神立駅東口へのアクセス性、おつ野、霞ヶ浦正面への移動利便性の向上を目的として、令和8年度に神立駅東口と田村沖宿線延伸道路を結ぶ道路の概略設計に着手する予定となっております。

## その他の質問

- 児童虐待について
- 小中高生の自殺対策について
- 臨時教員の正規化実施について
- 農業用水路について
- 平地林・竹林・空き家・文化住宅・旧アパート群の防火対策について



奥谷 崇  
【一括質問一括答弁】

## Q1 つちまるバスの現状と今後について

(1)中村南、右粉ルートの実証運行結果と今後の見込み、本格運行に向けての協議スケジュール等について伺います。  
(2)今後の導入予定地域と運行形態、導入までのスケジュールについて伺います。

## A1 都市政策部長

(1)実証運行の最終年度である令和7年度の結果は、中村南・西根南地区が1便当たりの乗車人数4.0人、収支率15.7パーセント、右粉地区が1便当たりの乗車人数2.8人、収支率10.2パーセントとなり、1便当たりの乗車人数は2ルートともに目標達成となつた一方、収支率は運行経費の増加などにより、わずかに目標を下回りました。先月開催された土浦市地域公共交通活性化協議会に諮ったところ、乗車人数は地域の努力の結果、目標を達成されたことが評価され、本格運行のご承認をいただいたことから、4月から本格運行を開始いたします。  
(2)コミュニティ交通の導入は、土浦市地域公共交通計画において、現在進行している3地区に加え、並木・板谷地区、神立町・木田余東台地区、中・高津・永国台地区、おつ野地区の計7地区をコミュニティ交通導入促進地区に位置付けています。計画上、次は並木・板谷地区としていますが、昨今の公共交通を取り巻く環境、特に運転手不足はまだ解消するには至っており

動画は  
  
こちらから

## Q2 フッ化物洗口について

(1)本市におけるフッ化物洗口は、小学校口腔衛生推進事業の一環で実施されていると認識していますが、その策定の経緯と現場へ伝達・周知はどのようにされたのか、改めて伺います。

## A2 教育長

(1)子供たち自身による虫歯予防の大切さの意識付けと公平な虫歯予防の機会を提供し、健康格差の縮小を図ることを目的として令和4年度に事業を開始しており、令和14年度の全校実施を目標として今年度から事業を拡大して実施しています。全校実施に向けた事業開始に当たっては、令和7年4月の土浦市学校長会定例会、6月開催の養護教諭部会研修会において、事業の目的や実施内容、今後の拡大計画などについて、丁寧に教育委員会から説明を行いました。具体的には、令和4年度からの3か年にわたる実施校での実績を紹介し、不安視されていた事項に対して、各校で様々な工夫をしながら問題なく事業が行われたことについて、関係職員にご理解いただきました。



平岡 房子  
【一括質問一括答弁】

## Q1 林野火災の予防について

(1)本市における林野火災の予防対策について伺う。  
(2)検査機械導入前の令和元年度は、医療機関による精密検査の必要な幼児が受診者全体の3.9パーセントだったのに対し、導入後の令和2年度は8.2パーセント、令和7年1月末現在では9.6パーセントに増加しており、例年8から9パーセントで推移しています。今年度受診につながった34名については、要医療が15名、要観察が17名、異常なしが2名という結果でした。診察結果は重複しますが、要医療の内訳は、弱視が6名、乱視が13名、遠視が8名、斜視が2名、近視が1名となっており、眼鏡作成や継続的な定期受診など、治療につながっています。

## A1 消防長

(1)林野火災の予防には、消防機関だけでなく、本市関係部局との情報共有が必要不可欠であることから、日頃から連携を強化し、より効果的で総合的な対応が取れる体制を構築しています。また、市民への周知啓発活動も林野火災予防に非常に重要となることから、林野火災の注意報・警報の発令時よりも、屋外で火を取り扱う際の基本的な注意点として乾燥した日や強風の日は火を使わない、消火用の水を必ず準備するなど、年間を通じて啓発活動を行っております。  
(2)5歳児健康診査(新規事業)と3歳児健康診査について  
(1)令和8年度からの新規事業である5歳児健康診査事業の詳細について伺う。  
(2)3歳児健康診査における視力のスクリーニング機械による検査のその後の成果について伺う。

## A2 いごも未来部長

(1)①実施年度に満5歳となる幼児全員を対象とした国の推奨する悉皆型の集団健診で、誕生月の前月に個人通知によりお知らせします。実施回数は毎月2回、健診項目は身体計測、問診、集団行動観察、診察、保健指導、育児相談、療育相談で、健診の結果、医師

動画は  
  
こちらから

## Q1 人口減少社会における若者定着と次世代人材育成についてどのような考えでしょうか。

(1)本市における若者(15歳~39歳)の転出入の現状分析について  
(2)地元企業・農業と若者のマッチングについて  
(3)若者が挑戦できる起業・創業支援の具体策について

## A1 市長公室長

(1)10歳代後半から30歳までは、5歳ごとの年齢別の全年代において転入超過となっています。年齢別に分析すると、10歳代後半から20歳代までは、県内における社会移動の状況において転入超過が顕著となっており、本市に所在する大学、専門学校への進学や企業への就職を機に本市に転居してくる方が多いことなどが想定されます。今後こうした状況を維持し、若者に選ばれる土浦となれるよう、分析結果を踏まえながら実効性のある施策を推進してまいります。  
(2)人材確保に向けて努力されている市内の中小企業から、知名度の問題もあり、人材が大企業に取られてしまう、若い世代に自社の魅力を伝える機会が少ないといったお声をいただいております。こうした課題を解決するため、就職を意識し始める高校生世代と地元企業が直接顔を合わせ、交流できるマッチングイベントを新たに開催します。また、若者が農業に関心をもち、実際に選ばれるキャリアとなるためには、地域で営農を支える体制や環境を整えることが大変

菅井 歩美  
【一括質問一括答弁】

動画は  
  
こちらから

## Q2 自転車のまちをさらにPRしていくための方向性についてどのようにお考えでしょうか。

(1)自転車のまちを活用し、観光振興及び定住促進につながることに對しての本市のお考えをお聞かせください。

## A2 市長公室長

(1)今後も地域を代表する食や体験とサイクリングを組み合わせた土浦ならではの観光コンテンツを提供するなど、サイクルーツの推進による観光振興に積極的に取り組んでいきます。また、自転車のまち土浦というブランドイメージを積極的に発信していくことで、観光振興による交流人口の更なる増加と本市の認知度向上を図り、移住・定住の促進による地域活力の創出につなげてまいります。



滝田 賢治 【一問一答】

### Q1 ひとり親家庭に対する支援の在り方について

(1)国の基本方針を踏まえた就業支援の位置付けについて、本市におけるひとり親家庭の就職活動における課題の把握と支援体制の現状を伺う。

(2)子どもの体調不良や未就学児の養育に伴う課題に対し、本市が実施している子育て支援策について伺う。

(3)子育てとの両立に理解のある市内企業の情報を可視化し、就労の入口を広げる仕組みについて、市の見解を伺う。

### A1 二つども未来部長

(1)個々の事情に応じた相談対応を通じて、子どもの体調不良や未就学児の養育等を背景に、採用段階で就労に結びつきにくい事実が存在すること把握しています。これらの状況を踏まえ、ひとり親家庭の自立支援を専門的に担う県南県民センターや、就労支援を行うハローワークとの役割分担の下、効果的な支援を実施しています。



動画は  
こちらから

労等により家庭での保育が困難な場合に、医療機関で一時的に預かる病児保育事業、また、一部の保育施設においては、保育中に急な体調不良となった子どもに対し、看護師が一時的なケアを行う体調不良児対応型病児保育を実施しています。さらに、子育てに伴う負担を軽減するため、「ファミリー・サポート・センター事業」により、子どもの預かりや保育施設等への送迎、産前産後の家事援助等の支援を行っています。

(2)ひとり親家庭を含む子育て世帯に対し、就労の機会を拡大する有効な手段として、子育て支援に積極的に取り組む企業の情報提供を進めていきたいと思います。今後は、商工会議所や商工会などの関係機関の意見を伺いながら、企業の自主的な取組をどのように紹介し、可視化していくかについて、就業支援の一環として検討を進めてまいります。

(4)空き家バンク制度の趣旨を踏まえつつ、ひとり親家庭の住まいの選択肢の一つとしてどのように空き家等を活用できるかについて、所管する部署と情報共有を図りながら、可能性を検討していきたいと考えております。

(5)個々の施策の効果を定量的に示すことには困難な面もありますが、就業支援や定住支援を通じて自立の促進は、本人や家庭の生活の安定に資するのみならず、市全体の財政の安定にも寄与するものであると認識しております。中長期的な財政運営の観点からも重要な取組であり、今後も関係施策の充実に努めてまいります。



根本 法子 【一括質問一括答弁】

### Q1 公共ライドシェアについて

(1)これまでの利用実績について伺う。

### A1 都市政策部長

(1)本市を含む4市において実施している地域連携公共ライドシェアのうち、つくば市と連携して実施している、つくば・土浦エリアの利用実績は、運行を開始した令和7年1月27日から令和7年12月末日までに延べ311件、月当たりでは20人から30人で、運行開始以降、横ばいで推移しています。年代別における利用者の割合としては、60代、70代が中心で約6割、そのほか20代から50代まで、それぞれ約10パーセントずつでした。利用者が伸び悩んでいる理由としては、公共ライドシェアが始まって間もないこともあり、認知不足の面もあり、移動に困っている高齢者が移動したい時間帯に運行していないことなどが主な要因と考えております。



動画は  
こちらから

一方、ご利用された方からはドライバーの対応が丁寧で気持ち良かった、交通空白地には必要なサービス、重要な取組なので頑張っていたらいいというご意見もいただきました。アプリの操作が難しいなどの御意見については、適宜改善を図る取組を進めてまいります。

(2)利用が少ないという課題に対しては、今後も引き続き、SNSなどによる訴求や情報発信のほか、地域の店舗や公民館での説明会の実施など、デジタルと対面の両側面から利用促進に努めてまいります。

(3)利用が少なくないという課題に対しては、今後も引き続き、SNSなどによる訴求や情報発信のほか、地域の店舗や公民館での説明会の実施など、デジタルと対面の両側面から利用促進に努めてまいります。

(4)現在、中心市街地については常磐線とTXのターミナル駅を持つ市街地にふさわしい利便性や機能の確保が、新駅については新たな新市街地の形成が必要になると考えています。先日のシンポジウムにおいて、TXの沿線開発に携わってきたパネリストの方から、既存市街地との役割、関係性を意識しながら沿線開発を進めるべきとの意見をいただきました。新駅や中心市街地の役割や位置付けを検討することは、本市全体の都市づくりを考えていく上で大変重要であると認識していることから、今後も新たなまちづくりについて研究を進めてまいります。



目黒 英一 【一括質問一括答弁】

### Q1 つくばエクスプレス土浦延伸が土浦市にもたらす可能性について

(1)つくばエクスプレス土浦延伸に伴う開発について伺う。

### A1 市長公室長

(1)新たな産業や人材が集まる独自性のある都市づくりを進める上で一つの視点となることから、今後、都市づくりを検討していく際に参考にさせていただきます。また、実施してきた中で見えてきた課題もあります。引き続き課題に対して検証を行いながら、本市に合った公共ライドシェアの形を模索の上、来年度に予定している土浦市地域公共交通計画を改定する中で、今後の活用について検討してまいります。



動画は  
こちらから

(2)安心して学べる学校には、障がいのある児童生徒、外国籍や日本語指導が必要な児童生徒への合理的配慮について本市の考えを伺う。

### A2 教育部長

(1)スペシャルサポートルームとは、登校が可能であるものの、教室での学習が困難な児童生徒が利用できる居場所のことです。本市では校内フリースクールとして位置付けており、不登校児童生徒への校内での居場所の確保を目的に、令和7年度までに全中学校に整備しました。また、新治学園義務教育学校では、校内フリースクールによる小学校前期課程児童の受入れを試行的に開始しました。令和8年度からは不登校児童生徒の早期支援を目的に、教育相談員の小学校への派遣や教職員対象の研修などの教育支援センターからのアウトリーチ型支援を充実させるとともに、小学校における最適な居場所の在り方について、具体的な検討を行ってまいります。



柳澤 健二 【一問一答】

### Q1 学校給食における規格外野菜の活用と持続可能な給食運営について

(1)本市の学校給食を取り巻く財政状況及び持続可能性について伺う。

### A1 教育部長

(1)米の価格の上昇に伴い、昨年11月の新米切替え時により、1食当たりの米飯価格は、小学生で約17円、中学生で約20円増額しています。また、米などの主食の価格の上昇は、副食費にも影響を及ぼすことから、献立作成や調理工程において、旬の食材の活用や肉の部位の変更、ドレッシングやシチューのルーを手作りするなど、食材費を抑えるための工夫を重ね、質と量の維持に努めております。



動画は  
こちらから

(2)本市の第3期環境基本計画において、食品ロスや給食の食べ残しの削減、堆肥化の推進など、食料ごみの排出抑制や有効活用に取り組むこととしてまいります。今回の規格外れんこんの活用は、生産過程で廃棄される食品の有効活用となることから、本計画の取組の一つとして位置付けられるものと考えております。

(3)これまで食育の取組として、食品ロス、食べ残しを減らす、食べ残しのゆくてんなどをテーマにした食育動画を作成し、給食の時間に配信してきました。今後は規格外野菜の活用を進める中で子供たちに対しても、生産過程での廃棄の実態や、もったいない野菜としての活用事例を紹介しつつ、栄養面でも差がないことや食品ロスの削減の意義について、食育の中でも丁寧伝えてまいります。

(4)本市の学校給食においては、地産地消の食育の観点からも、地場産物の積極的な活用に取り組んでいます。しかし、安定的に給食を提供するためには、調達価格なども重要な要素となるため、国産品への拡大も考えてまいります。



「トモイクシート」の周知と活用について

その他の質問



竹内 裕  
【一括質問一括答弁】

**Q1** 土浦市障害福祉計画を進める中で、現状と課題について

(1)「県障害者活躍推進プラン」と、土浦市の障がい者雇用について伺います。  
(2)知的・精神障がい者等が支援を受けながら少人数で共同生活をする「グループホーム」の現状について伺います。

**A1** 保健福祉部長

(1)本市では茨城県のように、障害のある職員が行う業務の集約や支援員の配置は現在のところ行っておりませんが、障害のある職員本人の意向や障害の特性に配慮した配置及び業務の割り振りを行うとともに、人事課に相談窓口を設置し、必要に応じて各部署と連携しながら、障害のある職員が働きやすい職場づくりに努めてまいります。

(2)令和8年2月1日現在、グループホームは市内に32か所あり、令和6年度の利用者数の実績は身体障害者18人、知的障害者108人、精神障害者123人、合計で249人となっております。当該施設は新たに専用にて建てられた建物や、既存の一般住宅やアパートを活用して運営されており、一人ひとりに個室が設けられ、世話人や支援員が、利用者の食事や入浴、相談などの支援を行いながら、共同で生活を送っております。

**その他の質問**  
●学校プールの現状と今後の考え方について

後、本調査によって官民連携による手法が成立すると判断される場合には、事業者の選定手続へと段階的に進めていきたいと考えております。

動画は



こちらから

**Q2** 児童発達支援センターの開設について

(1)令和5年第2回定例会の副市長答弁以降、現在、何が具体的に進んでいるのか伺います。  
(2)場所及び開設までの考え方について伺います。

**A2** 市長公室長

(1)官民連携による多様な土地活用の可能性について、民間事業者の意向やアイデアを把握するため、昨年9月にサウンディング調査を実施しました。調査の中で、官民複合施設を整備し、そこに開設する市施設との相乗効果が見込まれる場合には、事業化の可能性があると意見があり、その具体的な可能性について、さらに精査する必要があります。そのと受け止めています。そのため、児童発達支援センターを核とした、官民複合施設の実現可能性について、導入機能や施設規模、事業手法、概算事業費等を総合的に整理する民間活力導入可能性調査業務を実施するために、必要な経費を本定例会に補正予算案として提出する予定です。  
(2)昨年11月に改定をした公共施設等再編・再配置計画において、生涯学習館、勤労青少年ホームの跡地に児童発達支援センターを整備する方針を正式に位置付けました。開設時期については、事業手法が決定していないため、現段階では申し上げられませんが、今後、本調査によって官民連携による手法が成立すると判断される場合には、事業者の選定手続へと段階的に進めていきたいと考えております。



篠塚 昌毅  
【一括質問一括答弁】

**Q1** 学校校庭に雨水を溜める施設を設けることについて

(1)市として、複数校の校庭に雨水貯留施設を設置する計画の検討について  
(2)学校施設の安全対策として雨水貯留施設を整備することについて

**A1** 教育部長

(1)学校における雨水対策については、貯留施設の設置を含め、これまでも必要に応じて実施してきました。今後水資源の有効活用や避難場所の機能の強化、周辺敷地への雨水の流出抑制といった観点から、引き続き適切な対策を講じてまいります。  
(2)整備実績として、土浦小学校のグラウンドでは、地下に雨水を一時貯留するトレンチ管を敷設し、大量に降る雨が敷地外へ直接流れ出ることを抑制しています。また、土浦第四中学校では、令和6年度のグラウンドの改修において、透水性と保水性を併せ持つ特殊な土壌改良材を使うことで降った雨を浸透させつつ、土ほこりやびび割れが起きにくい、運動に適したグラウンドへと生まれ変わりました。  
(3)令和10年度に開校を予定している上大津小学校において、駐車場の一部の地下に、合計で約770立方メートルの雨水を貯留可能な雨水浸透施設を埋設し、大雨時における周辺への水害被害の拡大を抑制

動画は



こちらから

**Q2** 乳幼児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について

(1)送迎に関する課題について

**A2** こども未来部長

(1)本制度の送迎については、原則として保護者又は事前に登録された家族等による対応が想定されています。一方で、自家用車を持たない家庭、多子世帯、妊娠中や体調に不安を抱える保護者など、送迎が困難な家庭については、利用格差が生じないように十分に配慮する必要がありますと認識しています。本制度は家庭の状況にかかわらず、子供の育ちを支えることを目的としており、その理念と送迎負担が矛盾することのないよう、送迎にかかるファミリーサポートセンター事業の活用について、事業実施者である市社会福祉協議会や土浦幼稚園との連携を密にするとともに、キララちゃんバスなどの公共交通機関を利用する場合の利用時間帯についても工夫を図るなど、可能な範囲で利用者の負担軽減に努めてまいります。

**その他の質問**  
●林野火災の予防及び消火訓練について

防大大学校へ、将来幹部となる職



平石 勝司  
【一括質問一括答弁】

**Q1** 小児オンライン相談サービスの導入について

(1)小児オンライン相談サービスの導入について

**A1** 保健福祉部長

市内医療機関の診療を補完するかたちで、土浦市休日緊急診療所や病院群輪番制に取り組んでいることから、今後も医療需要などを的確に捉え、市民の皆様のお声にも耳を傾けながら、引き続き小児オンライン相談サービスの導入について調査研究してまいります。

**Q2** 消防力の向上に向けた消防職員の取組について

(1)消防職員の教育の取組について  
(2)本市独自の災害訓練実施について  
(3)消防本部の今後の取組について

**A2** 消防長

(1)新人消防職員は県立消防学校での教育訓練が必須となっております。約5か月間にわたり消防職員として必要な基礎的な知識と技能を身に付けます。また、勤務年数と経験を重ねた職員は専門的な教育が必要となるため、約2か月間、救急、救助、火災調査などの各分野で活動できる職員を育成するために入校しています。さらに、高度な組織運営能力を求められる職員への教育として総務省消防庁が所管する消防大学校へ、将来幹部となる職員が約2か月間入校し、消防業務のあらゆる分野において、専門的知見を有する職員の育成を図っております。  
(2)消防本部においては、火災、救急、救助の各分野から、現場での課題を抽出し、必要な訓練を随時実施しています。本市の特徴は管轄水域として、全国第二位の面積を有する霞ヶ浦に加え、1級河川である桜川を有しており、水難救助対策が必要であることから、県内初となる訓練用プールを整備し、実災害での対応に役立てております。訓練用プールで通年訓練を継続することで、隊員の安全管理能力や現場対応力は格段に向上し、結果として安全、確実、迅速な水難救助活動に定の効果が見れております。  
(3)これまで経験してきた各種災害や大規模な合同訓練などで得た知識と技術を確実に若手職員へ伝承するとともに、職員の育成、連携強化を柱とした消防力向上の取組を進めていきます。特に、接遇を意識した育成に重点を置き、災害に見舞われた方や救急車で搬送される方に寄り添い、不安を少しでも軽減できる活動が行える、心豊かな職員の育成を進めてまいります。

動画は



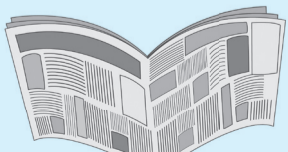
こちらから



議会からのお知らせ

土浦市議会では、様々な方法で市民の皆さまに議会情報を発信しています。

- ①議会・委員会の傍聴  
議場や委員会室で直接議員の生の声が聞けます。議員の熱い思いを感じてください。
- ②市議会ホームページ  
市議会の情報が満載です。議会とは、という基本情報から議員の紹介まで、議会についての情報を幅広く掲載しています。
- ③インターネット録画配信  
議員の質問内容や答弁内容を映像でご覧いただけます。
- ④会議録の閲覧  
議会で話し合われた内容が分かります。市立図書館や支所・出張所をはじめ、各中学校区の公民館で閲覧公開しています。
- ⑤市議会だよりの発行  
各定例会が閉会した約2か月後に発行されます。議会からの報告や結果を掲載しています。



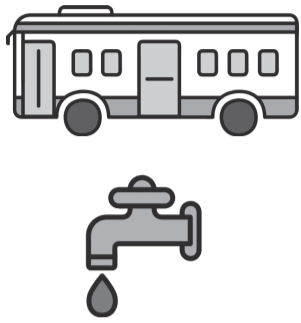
# 市内立地企業と 議会報告会・意見交換会を開催しました

令和8年2月13日に、令和7年度議会報告会・意見交換会を行いました。市内立地企業21社にご参加いただき、意見交換会では各テーマについて委員会と意見交換を行い、次のようなご意見をいただきました。

## 総務市民委員会

テーマ「環境保全対策について」

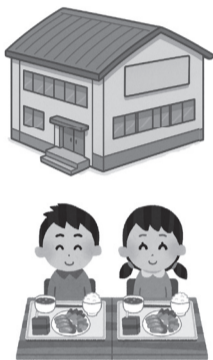
- ◆企業が設置する貯水槽は、水道水を安定的に供給するための設備だが、災害時においては生活用水等の供給源になり得るため、市と企業が災害発生時における給水協力に関する協定を締結するのはどうか。
- ◆環境負荷軽減の基盤の一つである公共交通（バス）は、環境対策を進めるためにも、維持・確保について改めて検討していただきたい。
- ◆不法投棄は、土壌や水質の汚染につながるおそれがあり、環境負荷を生じさせる重大な問題である。不法投棄を防ぐためには、防犯灯や防犯カメラによる監視体制の強化など物理的対策が有効ではないか。



## 文教厚生委員会

テーマ「教育環境の整備・福祉に  
（こども）」

- ◆近年の真夏の猛暑により、夏場の小中学校の体育館は熱中症のリスクが極めて高くなっている。児童が安全・安心に過ごせる教育環境を実現するために、各小中学校の体育館へ空調設備を早期に設置してほしい。
- ◆現在、土浦市立の小中学校及び義務教育学校の給食費は無償化となっているが、保護者の負担軽減や子育て支援のために、今後も給食費の無償化を継続してほしい。



## 産業建設委員会

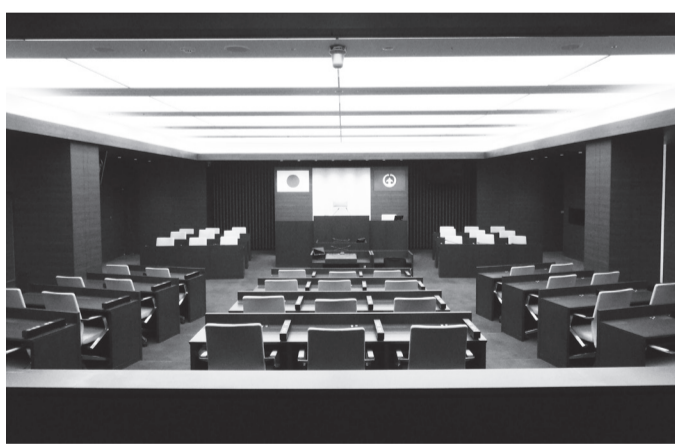
テーマ「周辺環境の整備について」

- ◆地方就職学生支援事業の対象者について、東京圏内に在住している方だけでなく、地方にも在住している方に広げべきである。
- ◆スマートインターチェンジとりんりんロードの親和性を上手く利用すべきである。
- ◆民間事業者の立地促進に関して、立地後の雇用の面についても、市から手厚い補助があってほしい。



## 議会を 傍聴しませんか？

市議会本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、受付（本庁舎4階傍聴席入口）で、住所・氏名等を記入して入場してください。みなさまのご来場をお待ちしております。



### 次回定例会の主な予定

- 6月2日（火） 本会議【招集日】
- 6月8日（月） 本会議【一般質問】
- 6月9日（火） 本会議【一般質問】
- 6月10日（水） 本会議【一般質問】
- 6月18日（木） 本会議【最終日】

### 【編集後記】

今回の議会報告会では、多くの企業の皆様にご参加いただき、各委員会ごとに活発な意見交換が行われました。総務市民委員会では、災害時における貯水槽の活用や公共交通の維持、不法投棄対策など環境保全に関する幅広い課題について、現場の実情を踏まえた貴重なご意見をいただきました。また、太陽光発電設備の適正な廃棄や事業系ごみの管理など将来を見据えた課題も提起され、行政の役割の重要性を改めて認識いたしました。現場の声を重みを受け止め、今後は市内のより広い地域の企業の皆様とも意見交換の機会を広げ、具体的な施策へとつなげてまいります。さらに、いただいたご意見を丁寧に整理し、実効性のある取組へと結び付けていくことが重要であると考へております。引き続き、市民の皆様のご安心と安全を守るため、丁寧な議論と着実な取組を進めてまいります。

委員 菅井 歩美

### 広報広聴委員会の副委員長が 交代しました

広報広聴委員会副委員長  
吉田 直起

### 土浦市議会の個人情報保護に 関する条例の運用状況

令和7年度における開示請求  
の件数は0件でした。

### 広報広聴委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 矢口 勝雄 |
| 副委員長 | 吉田 直起 |
| 委員   | 菅井 歩美 |
| 委員   | 田中 義法 |
| 委員   | 奥谷 崇  |
| 委員   | 目黒 英一 |
| 委員   | 今野 貴子 |
| 委員   | 下村 壽郎 |
| 委員   | 平石 勝司 |
| 委員   | 鈴木 一彦 |
| 委員   | 篠塚 昌毅 |